

山田第五小学校に係る学校規模適正化説明会 議事概要
(山田第五小学校区の児童の保護者)

- 1 日 時 令和6年6月29日(土) 午前10時～午後0時35分
- 2 会 場 山田第五小学校 多目的室
- 3 参加者 山田第五小学校校区の児童の保護者 36名
学校教育部 山下部長
教育未来創生室 薬師川室長、松山参事、松本主幹、渡辺主査、金谷係員
学校管理課 砂川課長
吹田市議会議員 7名(傍聴のみ)
- 4 内 容 山田第五小学校に係る学校規模適正化(統合に向けた取組状況)について
・統合に係る役割分担について ・通学路について ・その他
- 5 質疑応答

教育委員会: ありがとうございます。ではここからは質疑応答の時間にしたいと思います。
何かご質問のある方は挙手で、こちらで当てさせていただきたいと思います。

保 護 者: すいません。45分までにはもう出なきゃいけなくて、ちょっと先に質問させていただいて、すいません。2年と4年に子供がいます。4つあるんですけど、まず1つ目が、1番の課題が山五の問題ってこれなんですか。その通学区域のことが1番メインなんですかね。今この時点において。教育委員会として。ちょっと1つずつお返事いただこうと思ってます。お願いします。

教育委員会: ご質問ありがとうございます。山五の統合に関しての課題ってたくさんあると思うんです。子供たちのケアの問題とか、交流事業とか、あと、山三をどういう学校にしていこうとか。先程のご説明でもさせていただいたんですけども、学校と教育委員会とで今、役割分担をさせていただいている中で、本日、教育委員会ということで、ご説明に参りましたので、まずはアンケートを取らせていただいている通学路に関して、皆様のご意見に対するご回答をさせていただいたというところでございます。ですので、統合に関しては課題としてはたくさんあるという風に我々としては認識しております。

保 護 者: 私たちは貴重な時間を捻出してここに来てるんですけど、前の説明会でも資料を事前に配ってそれに目を通してってすれば、多分30分、この無駄な時間なかったと思うんですね。なぜ資料をいつもこうやって、配られて、何枚か、数枚資料を配られて、それを30分間私は聞いてなきゃいけないのかなっていつ

も思ってるんです。なぜこれを全家庭に配布してくださらないのかなっていう風にいつも思ってて。これを見たら、多分もっと保護者は、え、今の時点でこんなこと言ってるんだっていう風に思って、もっとたくさんの方がここに来られて、もっと意見が出ると思うんですけど、今まで多分それを教育委員会がしてこなかったから、未だにこれをしてるんだと思うんですね。それについては改善されないんですか。資料を事前に全家庭に配布して、で、目を通して来てください。そこから質疑応答に入りましょう。っていう会議の場にはならないんでしょうか。ていうか、教育委員会はずっとこういう会議の方法をずっとやってらっしゃるんですかね。企業とかやったら多分、事前に資料に目を通していて、この貴重な時間、皆さんの貴重な時間を有意義に使いましょうっていう会になると思うんですけど。その辺はいかがでしょうか。

教育委員会：ご意見ありがとうございます。会の手法につきましては我々もいろいろ工夫しながらやっていきたいという思いはあります。資料を整理する中でお時間をいただいたというところもある中で、手法については引き続き検討していきたいという風に思います。ありがとうございます。

保護者：すいません。あと2点あって。主体が変わって校長が窓口になられたということだったんですが、この間の学校の主体の説明会に私参加させていただいて、それも仕事休んで行ったんですけど。校長先生が主体になったんですね。でも、校長先生って統合の経験ってあるんですかね。で、今、山五の教員を見ていると、若い先生がすごく多くなって保護者でも話してるんですけど、その先生の中に統合の経験がある先生がいらっしゃるんでしょうか。で、私、その時にもちょっと、校長先生にって言われるだろうと思って、校長先生に要望を2つお願いしたんですが、それは山五小のホームページにも、スタートアップ授業ということで、今もホームページに載っていることがあるんですが、当然教育委員会は主体が変わったっていうだけで、同じように動いてらっしゃるので、その要望については目を通していていると思うんですが、その2点についても回答いただきたくて、校長宛に私連絡帳、娘の連絡帳を使って、要望の返事をお願いしますと言って校長先生宛に出して、校長先生からも返事があるんですが、それについての回答をお願いします。

教育委員会：すいません。学校と教育委員会で連携はさせていただいております。この間の5月24日の説明会で、様々なご意見があったということで、こちらとしてもそれは情報共有をさせてもらってるんですけども、個別にその2点のご要望が何かっていうところまでは我々お聞きはしていません。申し訳ないで

す。

保 護 者：1 点目が山三と合同の説明会を行って欲しい。なぜなら、校長がその説明会でずっと山三と山五の熱意は一緒ですと言っておっしゃってたのが胡散臭いなと思ったからです。熱一緒なら一緒に来て、同じことを述べてくれれば保護者は安心するのに、それもいやちょっとできませんみたいな。主体は私じゃないのでって、はっきり校長先生が教育委員会で話さないといけないみたいなことをおっしゃってたので、じゃあ教育委員会と話して、教育委員会にそのまま設定して欲しいですって話をしたので、その1ヶ月後ぐらいに、1週間後ぐらいにお願いしますって、教育委員会にも伝えてくださいねっていう連絡帳をやったのに、結局は伝わってないんですよ。で、あともう1つ目が、スタートアップ授業が行事ばかりで。じゃなくて、普段の授業の時数を潰してでも、山三と山五の子の交流できないですかって言ったら、保護者の方からそれは時数は確保して欲しいとかって校長先生が言ってたので、いやいや嘘でしょって。私教員なんですけど、生活とか特活とかいろいろ使えますよね、総合とか。なので、そうやって逃げるんじゃなくて、ちゃんと市教育全体で、もう走ってしまってるので、子供たちに少しでも楽しく学校行って欲しいし、楽しく統合して欲しいからっていう思いで言ってるのに、全然1つも聞いていただいてないなっていうこの1ヶ月間、私は残念でならなくて。で、あと最後なんですがすいません長々と。4つ目なんですけど、最後の11ページの資料、1個前の資料なんですけど。交流事業の計画とか魅力ある学校づくりの計画とか書いてくださってるんですけど、令和7年4月あたりには未定と書いてあるんですけど、これ多分、今のこの企画全部、えっと、児童の精神的ケアも全部、全部未定なんだろうなと。ここにも括弧付けるべきなんじゃないかなっていうぐらい。校長先生も言ってましたが、今やりながら走りながらやってる状態ですって校長先生も明言しておりましたので、何も決まってない状態でこの1年間走っているなというのが、一保護者としての感想です。以上です。ありがとうございました。

教育委員会：ありがとうございました。他、ご意見ある方おられますか。

保 護 者：失礼します。2年と6年に息子がおります。ある方は教育改革というのは車の運転をしながらエンジン直すみたいなもんやというようなことを聞いたことがあります。非常に難しいという風に認識しておるんですけども。教育委員会は支援をするということで、教育委員会の役割が助言指導という風に理解しております。それは法的拘束力がなくて、その学校現場に運営の権限がある

ことはもう認識しておるんですけれども、ここに書いてある1番最初の説明で、統合の決定をするまでが教育委員会が主体で、その後が学校主体だということの、その人事の権限については教育委員会が持たれてると思うんです。人事配置の権限はね。ということで、やっぱりそれを決めたのも教育委員会になりますので、どこがリーダーシップを発揮してやっていくのかっていうことは、やっぱり保護者としては見えなかったら心配だなという風に思います。校長先生が学校を運営しながら、この統合のことについてもやるっていうのは、とても大変なことやって保護者は分かっているつもりです。で、それまでの話し合いに来させてもらった時には教育委員会は丁寧にやっていきますっていう風におっしゃってたので、きっとここに集まれた方々にとっては、その丁寧にやっていくっていうのは、きっとこの統合に向けてもう尽力して、その人事配置、この統合に向けての人事配置っていうのも、もちろん校長先生がリーダーシップを発揮してされるパターンがあるっていうことも分かっているんですけど。山五についてはその地域のこと、コミュニティスクールとかそういうのを立ち上げていくんだったら、校長先生も地域のことをきちんと理解してなかったらいけないなと思うんですけど、少し変わられたので。今までの積み上げというか、そういう地域の特色みたいなものがどれぐらい分かっておられるかなというのを保護者からするとちょっと心配だなという風に思ってます。だから新しい学校のカリキュラムというか、こういう学校にしていくんだっていうビジョンがないままに今走ってるっていうことが目に見えてとれまして。で、1番最後のページに未定っていう風になってるので。これは本当に走りながらやってるのもよく見てとれますし、もう新しい校長先生が来られて地域と一体となってやっていこうとかっていうことであったら、もうちょっとこう決まった状態で、我々は結構、去年もちょっと時間が短いんじゃないかっていうことを言ってたんですけど、それだったらその校長先生主体とは言え、やっぱりそのどなたかリーダーシップを発揮してやってくださる方がおられないのかなっていうのはとても思っています。なので、その人事の調整ができるのは現場ではなくて教育委員会にありますので、そこについてはやっぱり力を入れていただけたらなという風に思っています。で、今段階で来年のその学校のカリキュラムというか、こういう学校、新しい学校にしていくんやっていう構想は、そしたら校長先生に聞けば分かるということで認識は間違っていないでしょうか。

教育委員会：ご意見、ご質問ありがとうございます。どういった学校にしていくかっていうところは山五と山三の両校長の方で今後整理をしていくっていうことになるというところです。

保 護 者：今後整理をしていくってことはまだ決まってない状態で走ってるという認識だと思いますので、そこについては校長先生だけに頼るのはちょっと厳しいと私は思っています。で、保護者の方々も、きっとここでやっぱり不安があるのはその辺りではないのかなという風に思っております。以上です。

教育委員会：ありがとうございます。両校でそれぞれのカリキュラムとかを合わせにかかっていることを前年度からしているという風に我々聞いておりまして、その辺りは進んでいっているという風に考えております。今ご意見いただきましたように、教育委員会としてもしっかりと支援していきたいという風に考えております。ありがとうございます。

保 護 者：ごめんなさい。いいですか。今、吹田市はそうにされてるってということやったんですけど、大阪府内でも結構多くの学校が統合をしていて、その時にやっぱり新しい学校を作っていく時には、まずその核となる方がその新しい学校っていうのをこういう風にしていくんだっていう意思のもといろんなものが積み上がっていくパターンが実際何校もありまして。で、そういう他の学校の取組、だから、今事務処理で加配もあるってということやったんですけど。その統廃合は国全体の問題になっていて、国がこう施策を打って、こういう学校、コミュニティスクールを活発に取り組んでいく学校だったら、国のそういう資金を取ってきて加配を付けてとかっていうそういう取り組みもいろいろあるんですけど。だからその、何か吹田市の中ではすごくこう、もうものすごく走りながら統合していくのが吹田市のやり方なのか、他のその地域の統合のことをきちんと視察されて、今このプロセスを踏んでおられるのか、そこについてはどのようにお考えかをお聞きしたいです。

教育委員会：統合に関しましては、府内のいろんなところを研究しながら、実際に両校長と、前の校長ですけど、見に行ったりもしております。そこの見に行ったのもそうだったんですけど、今山五に配置している2名の加配職員のうち1名は大阪府の正職の加配ということで、そういう形を活用しながらということで、それは去年度からずっと府の方にこちらから配置してくれるようにということで要望したという状況です。

教育委員会：ありがとうございます。次どなたか。

保 護 者：すいません。12月22日に条例決定してから、今日、もう6月、7月前じゃないですか。それまで教育委員会から何の話もなく、何か急にこんな感じで話

があって。で、それが通学路の話ですとか。で、教育委員会は何か主体はもう学校に変わってるとかって、何かこっちからすると、何かそれが法律で決まってるかもしれないですけど、保護者からしたらそんなん全然分からなくて、ただ何かそうやって逃げられてるみたいな感じしかないんですよ。で、その未来創生室が何のサポートしてるのかなっていう。学校に対して。で、この加配の件も加配されてないっていうことが分かって連絡さしてもらって、その時僕何言われたかって言うたら、保護者に報告義務がないって言われたんすよね。これが丁寧に進めていくよっていうやり方なのかなっていうので、やっぱり非常に不信感ありましたね。で、その時に1人いてないけど、その分教育委員会はいろんな面で学校をサポートしてるんですって言うのはったんで学校に聞いたんですよ。どんなサポートしてもらってるんですかって。いや、何のサポートもないですけどって言ったんで。何か言うてること全然違うなっていうのを現場では感じています。で、ただこれを進めるにあたって、やっぱり保護者だけではなくて地域の問題もいろいろあるんですよ。で、それに対して何で今日ここが保護者だけなのかなって。これもっと地域に開いていろんな意見とか聞いたらいいのに保護者だけで。これ今日校長も来てないんすよね。教頭も来てないんすよね。そこに校長も来てもらって、地域も入れて、今後、この山五地域どうなっていくねんみたいな。新しい地域どうなっていくねんみたいな話し合い絶対せなあかんと思うんですけど、そういう協議会を作る気っていうのはないんすかね。だからそれがいいからみんなめっちゃ不安なっていくんすよ。どうなっていくのって。で、12月から6月までほったらかしにされてる。で、学校の説明会2回やってますよって言うても、あれ、ただ単にスタートアップ授業こんなんやってますとかっていうだけの話なんで。今後こうやっていくとかっていうのはないんすよね。で、それも聞いたんですよ。今後どうやってやっていくんですかって言ったら、何も決まってへん。手探りでやっていくからその場その場で決めていくんですって。え、ちょっと待ってと。去年の3月とか2月とかに聞いた時は、新年度になったらいろんな計画全部決まっていくんですよ。人事とか全部決まらないうとそういうところは何も言えないんですって言うて待ってて、5月、この前の説明会2回目の説明会の時かな。で、何かもう決まりましたかって言ったら、いやもう決めれないんですって。走りながらなんですって。いや最初と聞いてた話と全然ちゃうやん。ていうこと言われてるから保護者はめっちゃ不安なんすよね。で、今日説明会始まったら、いやもう教育委員会はもうバックアップするだけで主体は学校なんですとかって言われても、いやそれはちょっと。保護者からしたら何か縦割り行政ほんまに見せられててって、もうそれで丁寧にやっていきますからって言われても、もう悲しいだけです。なので、それ何で生まれるか

って言ったらコミュニケーション不足やと思うんすよ。ねえ。そこに未定ってなってる場所もそれ決定になって初めてまた説明会するとかっていうのではなくて、こんなん考えてる、こんなん考えてる、こんなん考えてるっていうのを皆腹割って話してやっていきましょうよ、定例でいいから。それをずっと僕は求めているのに、ずっとそれやってくれないんですよ。決まっていることがないから話せませんって。それっていうのは今後もそういうのを続けるつもりなんですか。どこかがちゃんとグリップして中心になって、さっきおっしゃってくれましたけど、中心になってどこかが、ビジョンを持ってやっていくっていうのを今後も進める気はないんですか。検討してるとかではなくて。ちょっとその辺教えてください。

教育委員会：ご意見ありがとうございます。本日、仕組みの話をちょっと何点かさせていただきました。役割分担の話だとか、通学路の話だとか。今おっしゃったお気持ち、確かに私個人的にはそうだなと思う部分があります。ただやっぱりそういう仕組みに基づいて動かざるをえない部分っていうのはご理解いただきたいなというところはあるんですけれども、情報の提供の仕方、情報の共有の仕方、また意見の聞き方っていうのは、引き続き話をさせていただくんですけれども、やっぱり仕組みに基づいて、学校、教育委員会、そして市長部局とございますので、そこはきっちりとそれぞれの役割を果たした上でしっかりと連携をしていきたいというのが我々の考えでございます。

保 護 者：ていうことはもう協議体みたいなのは作らないってことなんですね。今後も。

教育委員会：現段階でそういったことは考えてはいないです。

保 護 者：何でなんですかそれ。何でそんな頑なに。それ一同にここに自治推進室が来て、地域の人も一緒に合同でやったらええだけじゃないですか。そんなにクローズドにする必要性がよう分かんないすね。それが吹田市のやり方なんですか。

教育委員会：ちょっとこれまでの経過、学校規模適正化という取組の経過をお話するんですけれども。令和3年度に基本方針を作りまして、5ヶ所でやっていこうというような流れがございました。その中で教育委員会が、保護者の方、地域の方も一緒に意見を聞きながらという動きをとったんですけれども、いかんせん権限のない教育委員会が勝手に地域の話を進めてしまったものですから大混乱を生じてしまいまして、そういった教訓も含めて役割分担をしっかりとしようと、そういう経過がございます。

保 護 者：でもね、市民自治推進室は教育委員会が何も決めないから動けないって言って、地域の団体とかも今ずっと宙ぶらりんの状態なんですよ。だからそれって今後のこの山五の跡地利用であったりとか、通学路の問題に関してもこれフェンス付けますよとかって言ってますけど。これ、体育館は避難場所として残るんですか。これもし避難場所として残るとかってなった時に、あそこの体育館の横にフェンスなんか入れてもうたら、何か災害とかあった時に、何か車が入る、救援物資持って来る、とかってなった時にあの細い道のところ入られへんよとかになってきたら、これもう学校だけの問題ではなくて地域の問題になってくるじゃないですか。だからこの通学路の問題っていうのも、保護者だけの意見聞くのではなくて、地域の意見も聞かなあかんと思うんですよね。それは聞く予定ってあるんすかね。

教育委員会：避難所の話につきましては、我々何の権限もないので、ここで申し上げることはできないんですけれども。通学路に関しては、保護者の皆さんにご意見を聞く中で地域からのご意見も今回いただきました。それはご意見としてお受けをして、それも踏まえた上で本日通学路の話としてさせていただきました。

保 護 者：その地域の声ってどうやって取ったんすか。

教育委員会：それは地域の方が学校の方に来られて、ご意見としていただきました。

保 護 者：それはその人が主体的に動いたから取れたって話だけじゃないですか。広く募集したわけでもないし、あのアンケートフォーム、あそこにたどりつける市民なんて多分中々いないと思うんすよね。ていうのでそれもうちょっと広くやることとかって必要じゃないのかなとかって思うのと、もう半年も経ってるのに避難場所も何も決まってないとかって。何も決まっていない。で、もうそうになったら権限がないとかって。ね。それで地域の人ら、保護者、安心してって言われても安心できるんですかね。

保 護 者：4年生の保護者と青対委員長です。よろしくお願いします。先程の方の話と同様なんですけど、まず遅かった理由はなんなんですか。12月に決まって今っていう。もう夏休みです。その理由を教えてください。

教育委員会：先程、役割分担の話もさせていただいたんですけれども、我々としては主体が学校になったということで学校が2月と5月に説明会をさせていただいたということで、ただこうした役割分担をする姿ということが見えにくいという

風にやはり皆さん思われたと思いますので、我々としてもこの通学路をご説明する、ご意見を伺う際に合わせてこの役割分担の話もさせていただくということです、2月、5月、6月という風な流れになってるという風に我々としては考えております。

保 護 者：決めたのは教育委員会ですね。じゃあ決めた人がそれをはよ言い来なあかんのじゃないですか。もう僕らちゃいますねん、学校ですねん、と。丁寧に対応すると言ったことは引き継がれているんですか。前のメンバーから。

教育委員会：丁寧にやっていくというのは、決まったところからそのまま引き継いでやっております。

保 護 者：丁寧やなと思いますか。

教育委員会：ちょっと先程からご説明繰り返しになって申し訳ないんですけども、学校と教育委員会で役割分担を決めながら連携をして、それぞれが説明会をさせていただいて、或いは情報発信という形で通知文なり学校だよりを出させていたでいてるという風に考えておりますので、そういう取組だと考えております。

保 護 者：つまり丁寧にやってるってことですね。じゃあ教育委員会としては。教育委員会って会社で言うと学校の本社みたいなところじゃないんですか。違うんですか。

教育委員会：実際の学校の本社と支社というような関係性ではございません。

保 護 者：じゃあ学校が困っても特に助けてくれないのが教育委員会なんですね。

教育委員会：法律上、それぞれの役割分担がありますけれども。教育委員会としては、学校長の権限で行われる学校運営・教育課程上の話を、もちろん服務監督したり、指導したり、必要に応じて支援をしたりということですので、もう全くその関係ないとかそういうことはありません。

保 護 者：分かりました。そこら辺の話ばかりしててもしょうがないんで。えっとまずその急ぐところは課題は沢山あると言ってましたよね、さっき。通学路だけじゃなくて。それを羅列して欲しいんですけど。去年もしてるはずなんですよ。

パブリックコメントとか、いろんな意見とか、これどうするねん、どうするねん、先生どうすんねんとか。そういうのを羅列して対策をこっちに持ってくるのが、もう遅いんですけど、普通なんじゃないかなと私は思うんですけど。他の課題はどうするんですか。

教育委員会：先程も申し上げたんですけれども、課題としてはやはり児童の精神的ケアっていうのはこれ継続して学校が行っておりますけれども、これを継続してやっていけないといけないですし、やはり中には不安なお子さんもいらっしゃいますので、そういった対応も必要です。交流事業につきましても学校、両校でそれぞれ話し合いなり、合同会議をしながら、継続していきますけれども、これももっと子供たちが自然に交じり合えるような方向で整理をしていく必要があると思います。また、これを今からまた検討しないといけないところで、走りながらと言われてしまうんですけども、学校の方で子供たちに、どんな学校にしたいかというのも声を聞いているところですので、その声を聞きながら、魅力ある学校づくりということでどんなことができるかというのは、整理をしているところです。それについては、教育委員会がしっかりと予算を取って対応させていきたいというところで、そういった大きな課題については、対応していきたいという風に考えております。

保 護 者：まあ他にもあると思うんですよ。先生の意向とかね。もう決まりじゃなくてももうどういう風に動いてるのかっていうのを我々に教えてくれないと分からないと思うんですよ。課題を羅列させてそれに対して検討やったり、こうする予定やとか、決定とかもあると思うんですけど、そういったのがないと今日通学路の話だけしに来ましたみたいになってますよ、今。それはちょっと違うなと思いますので次回を早くやって欲しいのと。あと学校名を検討するという話はありませんけど、昨年。生徒に声を聞くということを言っていましたけど、これについてはどうなりましたか。

教育委員会：昨年の10月の中旬14日かと思います。その3回目の説明会の折に申し上げたのが、学校名については子供たちの声も聞きながら総合的に判断したいということで、申し上げたかという風に思います。学校名につきまして、今早急にやらないといけないところが児童のケアですとか或いは交流事業で子供たちの気持ちをこう前向きにしていくというところですので、まずはそちらを取り組んでおります。学校名につきましては、落ち着いた段階でというところで考えています。

保 護 者：落ち着いた段階って 2 月に聞いてどうするんすか、それ 4 月からの話。失笑してますけど。

保 護 者：おかしいでしょ、もう言ってることが。

教育委員会：学校名については、タイミングについては今考えておりますけれども。直に取り組まないといけないということではなくて、子供たちの様子も見ながら、そういった声を、出てくる声を拾いたいという風に考えております。

保 護 者：違うでしょ。最終的にゴールがあってどう向かっていくって話をしないといけないのに、今の話だったらぎりぎりまで引っ張ってさ、やりませんって話になるでしょ。

保 護 者：その地域、学校名変えるってめっちゃめっちゃおっきい話山三地区の人でもすごいナーバスな問題やと思うんで、それをぎりぎりに変えました。で、納得するわけじゃないじゃないすか、地域が。向こうの地域が。

保 護 者：こっちの地域もだよ。精神的なケアっていうのを求めるんだったらまずそこじゃない、親も含めて。ごめんね、今野次するつもりなかったんすけどね。言ってること余りにも失礼ですけどレベルが低いのよ。

教育委員会：ぎりぎりとし申し上げているわけではありませんでして、子供たちの様子を見ながらということです。我々も子供たちの声を聞きながらというのは教育委員会でございますので、前回の説明会で申し上げたんですけれども、今子供たちの声というよりはどちらかといえばおっしゃってるように、保護者の方、地域の方の声が、大きいのかなという風に受け取っております。ですので、そういったところで言うと、我々としては子供たちのケアをしながらという、子供に向けて視点を向けているというところなんです。ただ、ぎりぎりということで考えているわけではございません。

保 護 者：いやもうぎりぎりなんすよ。今 7 月ですよ。夏休みですよ。いつアンケート取るのって話。それぐらいのプランを決めておかないともうぎりぎりなんですよ、既に。その認識がちょっとギャップありすぎるんじゃないすかね。

保 護 者：それから多数決とかやらないでくださいよ。あっちの方が人数多いですから。そんな汚いやり方しないでくださいよ。ケアをするのは今山五の方なんですし

よ。山五の方のメンバー、小学校の子たちを、意見を集中的に聞いて、どうするって話に持っていかないと不公平だね。

保 護 者：あ、すいません。いいですか。山三の今P T Aといろいろ打ち合わせしてるんですけど、学校名変えるなんて山三の人知らないっすよ。聞いてないって言っていました。いいんすか、これで。

教育委員会：学校名を変えるということは、誰も言ってないんですけども。

保 護 者：(場内騒然)

教育委員会：すいません。学校名を変えることを決定したとは、教育委員会も申し上げてないんですけども。

保 護 者：いや決定してないって一旦それは分かるんですけど、でもそれを検討に上げてるっていうのを山五だけに言って、山三はその検討してるってことすら知らないですよ。山三の人も。

教育委員会：子供たちの声を聞きながら総合的に判断しますということで申し上げたところです。

保 護 者：いつ聞くんですか、子供たちの声は。

教育委員会：子供たちのケアがある程度落ち着いた段階でですね。

保 護 者：それっていつですか。

保 護 者：子供たちのケアが落ち着くタイミングってあるんすか。

保 護 者：じゃあ落ち着かなかったらやらないってことですよね。

保 護 者：すいません。うちの子今も学校行ったら不安で嘔吐したりとかしてるんですよ。それってどういった具体的なケアをされてるんですか。

教育委員会：学校の方で、先ほどのスタートアップ授業ですとか。

保 護 者：それがちゃんとできてないと思うんですよ。そうやって未だ吐いてる。今の時点で毎年大体チックは治まってるんですけど、ずっと家でもチックがずっと、もう治まらないんですね。ていうことはしっかりちゃんとケアできてないってことなんじゃないんですか。

教育委員会：ケアについては、やはりそういうお子さんもおられると思います。皆こう落ちてきてるけどやっぱり不安なお子さんっておられると思うんですけども、それは学校の方でも個別対応させていただきますので、きっちり学校の方にもお伝えいただければと思います。

保 護 者：誰がしてくれるんですか。現場ですか。

教育委員会：学校の方でさせていただきます。

保 護 者：学校ですか。

教育委員会：それは学校になりますね。

保 護 者：教員ですよ。

教育委員会：教員です。

保 護 者：教育委員会は何もしないんですよ。

教育委員会：子供たちに普段寄り添っているのは教員になりますので、教員の見立てによってはもちろんスクールカウンセラーの派遣ですとか、そういったところも。

保 護 者：私去年言いましたけどスクールカウンセラーを配置しましょうって。スクールソーシャルワーカーとかいっぱい配置してくださいってお願いをしましたけど山三にも山五にもいますって話を去年しましたけど。

教育委員会：学校に個別配置ということではないんですけども、去年よりも配置の回数を増やしてくるようにはしております。

保 護 者：支援と統合担当今兼任してますよね。おかしいですか。さっきごめんなさいって謝ったけど、ごめんなさいじゃないですよこれ。

教育委員会：去年よりも増やして配置はしておりますけれども。

保 護 者：いやいや増えてないです。増えてないです。兼任なので。

教育委員会：来させていただく回数を増やすっていうところと。

保 護 者：回数じゃなくて人を増やして欲しいって私は言ったんですけど。

教育委員会：すいません。そこは対応できるところとできないところがありますので。

保 護 者：それがあから条例って通ったんですね、議会で。

教育委員会：配置の仕方なのか、それとも来させていただくそういう手法の話なのか、或いは個別に何か起こった時に集中的に来させていただくのか、選択肢はいろいろとあるんですけれども。そこは教育委員会と学校で連携をしながら対応させていただいているってことです。

保 護 者：詐欺ですよ。言ってること全部守らないで、通ったのに全部やってないんですよ。約束破ってますよね、議会で言ってること。

教育委員会：議会で申し上げたことで約束をしたっていうところ、細かなところを約束をしたというところではないんですけれども。

保 護 者：何だよそれ。騙してんじゃん。待って今日市議の人いるよね。

保 護 者：詐欺ですよそれ。

保 護 者：今聞いてて本当そう思ってる。そういう説明を受けた。保護者どう考えてもそうになってないよ。今日正直市議の方が来たことも評価しますが、まあ校長、教頭いないのはちょっとどうかなと思いましたけども。去年こういう統合の時にある市議のミーティング参加した時に、自分は1年で本当に足りるのかって言うたら、その市議は5年6年かかるだろうと言いましたよ。当然なんですよ。だけど今1年で強行してるんでしょ、そっちが。決めたんでしょ。それに対してこれが丁寧なやり方か。

保 護 者：いろんなところも行ったって言ってますけど、1年3ヶ月でやってる学校なんか

ないですから。

保 護 者：自分見に行ったったよな。1年この短期間でやったところ挙げてごらん。何個あるの。

教育委員会：ちょっと落ち着いていただいてよろしいですか。

保 護 者：いや落ち着けないです。

保 護 者：いや落ち着かんذارここまで来たら。

保 護 者：ずっと落ち着いて話してたのに、ここまで裏切られると思ってなかったんですよ、私たちも。

教育委員会：私の言葉選び、選んだ言葉が悪かったのかもしれないんですけども、議会にご提案させていただいて、丁寧にやっていきますという風に教育委員会としてご答弁させていただいております。その中で、できてること、できてないことがあって、例えば先程の加配教員の配置が遅れてしまったこととかありますけれども、学校と連携しながらケアですとか或いは交流事業で子供たちを見るところについてはしっかりやっているという、学校の方もやっているという風に考えております。

保 護 者：全部やってないですよ。

保 護 者：前校長先生、全然支援ないって言ってて連携できてないって言ってたよ。

保 護 者：今から考えていきますって校長先生言っていました。

保 護 者：今言ったのと全然現場と全然ギャップあるよ、それ。しかもそれ丁寧丁寧つつてるけどさ、今誰も丁寧と思ってないよ多分。

教育委員会：中々こう発信しにくいんですけども、我々としては、学校はきっちりやっているとこの風に考えておりますし、ちょっと学校の説明会での校長の発言と我々の発言とで、食い違いのようなことが生じてるのかもしれませんが、我々としては学校と連携をしていますし。

保 護 者：してないです。きっちりされてないって。

保 護 者：だからしてないって皆言ってんだからさ。それを認めないと。できてないんだから。

保 護 者：一保護者の連絡帳すら通ってないんですから通らないです、それは。

教育委員会：ちょっとここは平行線状になってしまうんで申し訳ないんですけども、我々としては学校と密に連絡も取り合いながら、対面でも話をしたり、或いは困っていることがないかということで、あるようであれば対応できるようにさせていただいているところです。

保 護 者：密ではないです全然。

保 護 者：もうこれ薬師川さんも平行線って言いはって、じゃあこのままずっと平行線でいったらいいというわけでもないじゃないですか。そうなった時に、解決どうすんのって言ったらもうさっき言ったみたいな、地域と保護者と教育委員会と自治推進室が集まるような協議体を作っていかな、形をとらなあかんのちゃうのって。で、これってね、この前の議会でも何人かの議員さん質問されてたと思うんですよ。これって。僕ら保護者、僕の意見だけじゃなくて、議会からもそういう声があったと思うんすよ。そこまで出てるのに、頑なにやらないっていうところに対して、これ薬師川さんじゃなくて、部長のその考えを聞かしてください。あのずっと薬師川さんが何か矢面に立ってるのもすごい可哀想なんで、部長せつかく来てるんやったら答えてください。

教育委員会：ずっとお話を聞いてて、まずいろんなご不安のところね。学校の取り組みが見えて来ないところについてだったと思うんです、突き詰めて考えたら。そこはちょっとしっかりと学校とコミュニケーションを取って、きちんと説明できるようにしないといけないなと思っております。今日、校長が来てないのは何故かっていうとこなんですけど、おそらく、校長が来てたら学校の取り組みが見えて来ないって皆さんのお声は聞けなかったんだろうなと。

保 護 者：何をおっしゃいます。言ってるよ。

教育委員会：先程から地域と合同でやったらどうかとご意見をいただいております。我々としては、教育委員会は、学校運営をしっかりサポートするということでの説

明をさせていただくと。地域の問題は市民自治推進室が、グリップを握るということでやっておりますのでそこはご理解いただきたいと思っております。

保 護 者：それに対して、まあその理由っていうのはさっき薬師川さんがおっしゃったみたいに、過去失敗例があるからっておっしゃってたじゃないですか。でも、過去失敗したからやらへんのじゃなくて、その時失敗した課題を生かして地域と連携しながら保護者も交えてやっていくっていうこの PDCA を回さなあかんのじゃないかなと思うんすよ。過去失敗したからやりませんではなくて、それ地域がそうやって求めている。保護者だけではなくて地域がそれを求めているのに、やっぱ過去失敗したからっていうその 1 例だけでやらないんじゃないしに、いい事例に変えられるようにやろかっていうような気合いみたいのはないんすか。

教育委員会：なるほどなというご意見なんですけども。役割分担をして進めていくっていうのが今回の規模適正化の考え方ですので、そこはご理解ください。

保 護 者：じゃあもうやらないってことですね。

教育委員会：繰り返しになりますが、地域での課題については市民部が主体にあるということです。ここでは私の立場でもこれ以上はお答えできません。以上です。

保 護 者：そんなきれ気味に言われてちょっと引くんすけど。

教育委員会：ここはね、役割分担をして市として方針を決めているところですので、ちょっと語気がきつかったら謝りますけども、言い切らないといけないとこだと判断しただけです。

保 護 者：それに対してどこかがグリップ握るっていうのを宣言できないんすか。もうこの問題に対して、この山五統合に対して、いろんな自治推進室とかバラバラなるんじゃないかって、もう未来創生室が中心になってやっていくわっていう風な形の組織づくりみたいのはできないんすか。その権限もないんすか。

教育委員会：先程部長が申しますようにどうしても市民部の方は、市民部がグリップを握る、地域の方をね。保護者の方、児童・生徒に関しては、学校が動いているんですけども、教育委員会内でいろんな室課が関連しますので、こちらについては教育未来創生室がグリップを握って連携していくという形になります。

保 護 者：2年に子供がおります。上の子は高3ですが、中の子は中2です。ずっと山五でお世話になっております。今回、この統合を決めたのは市民部ではないはずです。あなたたちです。部長あなたです。人の話を目も開かずにずっと座ってるのはいかなものなんでしょうか。人の話は目を見て聞きなさいって言われませんでしたか。発言の時だけこっち見るんですか。めっちゃ腹立ってきます。いい加減してください。それと人事についてですが、学校の先生の人事、何故最後の1年で校長先生変わるんですか。大阪府の教育委員会が決めたことだとしても、あなた方が助言ぐらいはできるはずですよ。一言ぐらい申し上げて欲しかった。ベテランの先生がいなくなったのもすごく痛手だと思います。今小学校2年生の子供のクラス、低学年でやっていたことが行われていなかった。私が先生に連絡帳で聞いたら、前年度の1年生の教員に聞いて、ああそういうことやってました。申し訳ありません。っていうお答えだったんですけども、それがベテランの先生がいたら防げたはずなんですよ。そういうことも考えてあなた方は進めていただきたかった。それと通学路に関してですけれども、あんなビラ1枚で何が分かるんですか。フェンスってどんな種類ですか。街灯は何色ですか。それによって防犯の高さも変わってくると思うんですよ。何方向ですか、1方向ですか、3方向、全方向、全部その1つの防犯カメラで何とかするんですか。そういうことも何も書かれてないんですよ。地域の人にその通学路のことを意見いただいたら、それを踏まえて考えますって言いますが、地域の知らないですよ。通学路のことなんて保護者にしか配られてないじゃないですか。学校の統合って学校だけの問題じゃないんですよ。言うたら資産価値も落ちます。何なら1つの地域潰すぐらいの勢いかなと私は思ってます。あなたたちが進めたんだったら連携して、あなたたちだけの説明会じゃなくて市民部も呼んで合同の説明会を私は要望します。今のところ以上です。

教育委員会：他、ご意見ある方おられますでしょうか。

保 護 者：失礼します。昨年度も説明会参加させていただいて、どうしてもこう納得いかないところがあって、統合されたそういう事例について、私自身は少ないんですけど、5つの地域の事例についてちょっときちんと見てきたつもりです。ただまあその5つについてはきつとうまくいったらから、そういう風に事例がこちらから見て取れるのであって、やっぱりそこについては、その人事について、先程からも何かこう役割分担があって、それぞれの縦割り行政じゃないですけどそういう役割をそれぞれが全うしていくと、それは納得するんです。どこでもそうやと思うんですよ。で、統合についてはその時にその統合

に向けて、校長先生が、例えばですよ、校長先生が手を挙げて、自分がこの地域の将来を担っていくんやっていう教育概念を持ってそういう統合について取り組んでおられる地域もありましたし。で、校長先生がどうしてもそういう両輪を回しながらやっていくのが大変だったら、教育委員会の中からそういう人事を決めて、その人が、その縦割り行政のそういう弱さがある自治体だったら、糊になるような役割をしてうまいことやっていくというような形を取っていつています。だから、我々保護者はそういう別に市役所の中でいろんな立場の方がおられて、それぞれ縦割り行政でやっておられて。それは別に構わないと思うんですけど。こういう統合に向けてっていう時には、そういう自治体の弱さっていうのがあるんだったら、それを認識されてるんだったら、そういう無理になるような役割を校長が担うのか、それとも教育委員会の中で人事を決めてやるのか、そういうきちんとされた方がここに来て説明されるっていう風な形がとられてないのがすごく問題なんじゃないかなという風に思います。先程からいろんな機関が集まって、そういう風に新しい学校を作っていくのはどうやっていう風に、我々が幾ら言っても、そういう権限、人事の権限はそちらがお持ちなので、そこについて我々はどうにもできないところがあるから今こういう話になってるんだと思うんですけども、どなたかそこについて全てというか糊の役割として、説明していただけるような方がおられないんでしょうか。そこについてお願いしたいと思います。

教育委員会：統合に向けて、統合を進める中で、その部署に限らず1人誰かの人事というようなことでご意見いただいたのかなと思うんですけども。先程来から、すいません、繰り返しの答弁ではありますけれども、今地域のことは市長部局の方で、学校、保護者の方については、教育委員会と学校とでやっていただいております、それぞれでグリップを握りながらやっているというのが現状です。それぞれで責任を持って役割分担を決めてやるということで進めています。

保護者：それは分かってるんですけど。やっぱりそういう統合について、地域と一体となってやっていた事例を視察された時には、そういうバラバラでされていることを吹田市はやっていくっていう風に決めたということで合ってるでしょうか。自治体に行って視察沢山されたんだったら、そういう風にどなたかがそういう他の、別に教育委員会の中で人事を決めて違う課の仕事をしろと言ってるわけじゃないんですよ。そんなじゃなくて、それぞれが別々の仕事をされてることも皆理解してますし、ただこういう時にやっぱり弱さが出てくるので、そういう視察されたところではそういう風な取組をされていなかったかどうか。されていたんだったら何故それを吹田市はしなかったのか。ていう

ところについてやっぱり疑問だなと思って今発言させてもらってます。

教育委員会：他市の事例でいうと、もちろんご指摘のような手法をとっているところもあります。我々としても、過去にそういった動きもあった中で、やはり混乱が起きてしまったということもあるので現在のやり方を示させていただいております。

保 護 者：現在のやり方は混乱は生じてないんでしょうか。責めるつもりはないんですけれども、でも保護者としてはやっぱり心配でうまくいってないから、そういううまくいった事例を取り入れるっていうのが何でされなかったのかっていう疑問だけなんですけれども。うまくいかなかったのにも、過去に理由があるんだったら、それを改善するのが大切なんじゃないの。すいません。こんなこと言っても仕方がないんですけども。何故取り入れなかったのかというその疑問だけなんですけど。

教育委員会：そういう事例をお話をお聞きする中で、別に問題なくそのまま統合に進めたということはないという風に我々その自治体から聞きまして、いろいろな問題があったということで聞いております。我々自身も学校規模適正化を進める中で課題が出てきたというところで今の現状の手法を取っているところです。

保 護 者：すいません。どこも、その5つの自治体の方に聞いた話では、皆さんやってみた結果の課題っていうのはあるんですよ。絶対メリット、デメリットが統合についてはあるものなので、そのデメリットについては、その両輪を回しながら、走りながら改善していくような形を取っていくと。ただ、その統合をするにあたっては、やっぱりビジョンがまず初めにあって、それに向けてどのような、裏に書いてあった魅力ある学校の企画ってここに文字では書いてあるんですけど、きっとこれは学校カリキュラムをどのようにしていくかっていうことではなくて、5月から実施、新たな取組となっているので、これはただ子供たちがどういうふうな取組をするのかっていう風に見て取れるんですけど、本来は魅力ある学校づくりの企画っていうのが前提にあった状態でどう走っていくかっていうそのゴールがあって、どうしていくかっていうところを、そういう人が糊になってやっていくというような説明を受けました。その上で、やっぱりデメリット、メリットはあると思うんですけど、まずそういう状態になってない今であるからこそ、そういう方が、今後何か他のそういう役割を担っておられる活動されてる方と同じ方、目に見える形で連携するのが見れたらいいんじゃないかなと。やっぱり先程もおっしゃってましたが、そう思うん

ですが。それをされないというのもやっぱり不安だなと思いながら聞いています。以上です。

保 護 者：すいません。おばあちゃん世代と地域で生きている者として、ちょっと発言させていただきたいなと思ったんですけども。今日、教育委員会からのお話を聞かせてもらったのは、私は初めてです。なので、地域の者はこういう現状が起こっているっていうことを細かく知ってる人は本当に少ないと思います。で、本当に認識していただきたいのは、統合っていうのは学校だけの問題じゃないっていうことです。明日にでも災害起こって、明後日でも災害が起こったら、本当にその通学路にフェンスを付けられたら、体育館どうするんっていう話に今なって、地域住民としては本当にそこがすごいもう戦々恐々となっているっていう状況があるっていうことは、その学校がなくなるっていうことの、もう付属していることだっていうことの認識は、教育委員会の方にも知っておいていただきたいなと思います。先程から児童のケア、児童のケアっておっしゃってるんですけど、現場に出向いて、定期的に現場に出向いて、実際教育委員会の方たちが子供たちの声を聞かれているんでしょうか。もう統合は決めました。でも、あとは学校に任していますっていうようなお話のように見受けたので。なので、学校に任せるんじゃなくて、統合を決めたのならその後の責任として、実際に子供の生の声を現場に出て行ってぜひ聞いて欲しいです。子供の権利条約の中にも子供の声を聞くっていうところがあると思うんですよ。なので、学校から聞く話ではなく、実際に担当の方が子供たちが本当に今どう思っているのか様々な声を聞き取って欲しいってすごく思います。なので、もしまだされていないのなら、月に1回でも、月に2回でも、お仕事もあるから忙しいとは思いますが、定期的に子供の声を実際自分の耳で聞いてもらいたいというのが1点。それともう1点、学校へのサポートなんですけど、本当に私は山三小学校も、山五小学校も、校長先生以下職員の先生たちはすごく頑張って、何とか子供たちが安心、ちょっとでも安心して、次の4月を迎えられるようにと頑張っている姿を、私はそのおばあちゃん的に見させていただいているんですけども、でも学校は学校でやっぱり本当に拍車がかかって、お尻たたかれて、何とかしないと何とかしないとっていうところがすごく大きいと思うんですね。そこのケアは教育委員会の方たちはされているのかなあと。先生たちも子供たちと一緒に、すごく疲弊されているっていう風に傍から見て思うので、そこのケアも教育委員会の大事な大事な役割じゃないかなと思うんですよ。そこは本当にその2点はお願いしたいなあとという風に思います。で、実際その学校を統合するっていうところら辺で、学校の現場に行かれて、子供たちの声は聞かれたことあるんですか。それで統

合が決められたっていう経緯ってありますか。教えてください。

教育委員会：ご意見、ご質問ありがとうございます。子供の声ということで、ご説明いただきましたけれども、この子供の様子っていうのは我々教育委員会も見させていただいてはおるんですけれども、これ無責任な意味ではなくて、子供の声を聞くのはやはり普段から寄り添っている教員であったり、或いは学校職員かなという風に我々考えておりまして、中々我々が来て子供に話聞いて、子供も中々言いにくい部分があるので、私たちとしては、子供の様子は、引き続き見る機会を作らせていただきたいなと思っています。併せて学校へのサポートっていうのは、おっしゃっていただけてる通り必要だと思いますし、予算面が中心になってしまうんですけれども、しっかり学校の話聞きながら支援していきたいという風に思います。ありがとうございます。

保護者：すいません。1つだけ。違うおっちゃんやから話ができるっていうのもあるんですよ。子供の声を聞いていると。実際に関わりが深かったら喋れることもあるかもしれないけど、喋れないこともあるんですよ。大人もそうじゃないですか。全然知らん何か分からへんけどおっちゃんに来て、どうやって聞いてくれたら、ポロッと本音が出ることもあるので、その役割は本当にその身近な人っていうことではないと私は思ってます。以上です。

教育委員会：ありがとうございます。その辺りは学校と話をしながら、できることを考えていきたいと思います。ありがとうございます。

保護者：すいません4年の親です。統合決まったんで子供に気持ちよく学校に通ってもらいたいってのが1番なんですけど、子供はやっぱまだ不安とか、嫌だって気持ちが多くて。で、僕らも説得しようとか、説得というか、話してこうという中で、僕らも不安だったりとか分かんないことあるんで説明会に来たんですけど。分かんないことが増えた。不安が増えた。少しでも解決したくて来たのに、こっちの親の不安がどんどん大きくなってしまってる。これじゃちょっと僕らも子供に話できないです。で、イエスカノーで。次説明会ありますか。

教育委員会：去年の説明会でもイエスカノーでっていう質問を受けた記憶があるんですけれども、中々イエスカノーで答えられないっていうのが答えでしたので、我々としてはご説明すべき内容がある場合にはもちろん必要に応じて開催をさせていただきますし、情報発信、情報共有の仕方というのは、いろいろ考えさせていただきたいという風に考えております。

保 護 者：これ僕個人かもしれないですけど、不安が増えた。で、その中で次また今まで出た課題とかっていうのをやって欲しいという、他の意見もありましたけど、そういうのを解決しない限りどんどん不安が募ってくるだけなんです。時間もなくなってくるし、考えていく中で、要望としてやって欲しい。これに対して答えてくれるのは、丁寧なやり方になってくるんじゃないすかね。まあこれについては別にやるやらん言わなくていいですけど。それが丁寧だと僕は思ってます。以上です。

保 護 者：2年生の保護者です。えっと、統合というのは山三と山五が一緒になって新しい学校ができるっていう風に認識するのは間違えてますか。いいですか。小学校の名前を変えてくだされば、新しい学校になったんだという認識を、地域も子供も保護者もあると皆があると思う、皆が思うと思うんですけども。今のところ何ていうか、変えてくださるような気合いが見えないというか、こちらの要望としては是非とも変えていただきたいと思っているんですけども。で、保護者として思うのは、保護者も子供もこの先生がいらっしゃると安心できるみたいな、こうずっといらっしゃる先生っていうのは心の拠り所であります。親の不安が子供に伝わって子供の不安になりますので、子供の不安だけを思うのではなくて、最低限で結構です。親のことも少し考えていただきたい。親が何をもって、何を心の拠り所に学校を信頼するかっていうとやっぱり先生なんですよね。この先生は上の子の時も見てくださってこんな風にケアしてくださったから心から信頼できる。別に担任じゃなくても学校にいらっしゃるっていうこと、少しお顔を見るだけでちょっと安心できるみたいな先生も何人もいらっしゃいます。でも大体そういう先生方って山五に来てもう6年です、7年です、もう8年です、もう異動が目に見えていますっていう方が結構いらっしゃいます。そういう不安は山三小学校の方も持ってらっしゃると思います。突然新しいお友達がいっぱい来ます。で、先生も、山三小学校が心の拠り所にした先生方が、長年いらっしゃったから異動になりますだと、ちょっと子供の心のケアとして心配なことがあります。なので新しい学校と認識して、例えば今山五の小学校が山三小学校に統合する時に一緒に行ってください。そこを1年目としてカウントすることっていうのはどうなんでしょう。あるんですかね。

教育委員会：人事上の仕組みとして、例えば山五の先生が山三に行くということで、1年目になるのかなという風に我々としては認識しておりますのと、あと、可能な限り、どうしてもまた縦割りだって言われるんですけども、人事権の方は大阪府の方に、最終人事権が府の方にございますので、我々としては可能な限り、

今の山五の先生が統合後の山三に行けるような方向性を導き出せるように要望していきたいという風に考えています。

保 護 者：それは正教員だからですよ。講師の先生は教育委員会の方の管轄なんじゃないか。

教育委員会：ややこしいんですけど、講師も府費と、府費という言い方分かりにくいじゃない。府の費用で来てもらっている講師と、市の費用で配置しているような者とおりますので、例えば府の方でしたらきっちり要望しますし、市費で来てもらってるのであれば、できる限りこのままいけるように。

保 護 者：ちなみにベテランの先生はどちらだったんですか。

教育委員会：我々その先生はおそらく府費だと思います。

保 護 者：帰って来ていただきたい。多分ここにいらっしゃる保護者は、もうきつと来てない方も全員思っていらっしゃると思います。で、西山田小学校に異動なんですよ。何で山三に異動じゃなかったのか。山三でベテランの先生と校長先生が待っていてくださる。先に山三の状況を前の校長先生、ベテランの先生が分かってくださってそして手を広げて待っていてくださる。それが子供の心に寄り添ったケアではないのでしょうか。子供たち、離任式で号泣してましたと聞きました、寂しくて。別に山三小学校に、先生に不安がある、不満があるとかじゃないです。新しく来てくださってる先生に不安があるわけではないです。ただ、今安心して顔を見るだけでほっとする存在という、分かりますよね。ありますよね。子供の頃を思い返してもあると思います。そういう先生方にぜひもう一緒に行って。前に違うところの説明会で市議の方に聞きましたら、府の管轄なので府が決めるって言いました。でもそこでも最大限口を挟んでいただきたい。一緒に異動していただきたい。ただ、特例なので3ヶ月だけ、1年だけ一緒に行くではなく、そこから1年目とカウントしてしばらくもう子供たちに寄り添っていただきたい、成長に。っていうのを強く思います。ありがとうございます。

教育委員会：ありがとうございます。他、何かご意見ありますか。

保 護 者：通学路について1点なんですけども。去年の夏に通学路を学内を通しますという説明を受けてからずっとこの図面しかもらってないんですよ。ずっとこの

点々なんです。で、前回アンケートで、幅員とカメラと街灯とかを付けますという図面を貰いましたが、それも地図に斜線が引いてあるのみで、この点々の左の端の方がどうなってるのかも分からないですし、門がどうなるのかも全然分からないので。せめて写真とか、イラストとか、CGとか、さっきも仰ってましたけれども、どんなフェンスが付くのかとか、どんな街灯なのかとか、ちょっと分かりやすくしてもらえないでしょうか。このままだと、冬休みに着工されるんですかね。出来上がってからじゃないと私たちは完成図が分からない、知らない状態になってしまいますので。いつ頃そういう具体的な写真とか見て分かるようなものは提示していただけないでしょうか。最後までこの点々のまま行かれるんですか。

教育委員会：ご質問ありがとうございます。アンケートの時に示したものが、今日の資料でもちょっと詳しいものになっています。このアンケートの中でいろいろご意見をいただき、今日もご意見いただいておりますので、それを踏まえて整理するんですけれども、部分的にはそういったイメージというかお出しはできるんですけれども、それは9月ぐらいになるのかなという風に考えております。

保 護 者：左の運動場の方には遊具もあると思うので、ちょっとその辺とか、倉庫の前に出る辺りとか裏門もですね。どうなるのか詳しく私達をもっとイメージしやすいようなものを提示していただければと思います。

保 護 者：逆に通学路の話で言うと、裏門に行くまでのカーブの所が私はすごく気になって、すごく狭くなっているんですけど。で、車も通る。私も普段そこをよく通るので、あそこに子供たちが沢山通るとなると、見通しの悪い一旦停止の所。そこを潰すとか、塀があるんですね、小学校の。その塀を潰すこととかも考えられているのか、考えられていないのかとか。もうちょっと道は広くなるのかとか。あと、純粹に正門を抜けるっていうのはできないのかなっていう。正門の方が近いイメージがあったりして。あと、見通しがいいとかいうのも感じるなと思うんですけど。その今いない塀のところを潰すつもりで通学路として考えられているのか。

教育委員会：まず、正門からというご意見。このご意見、去年に説明会で通学路のご説明した時にちょっといただいたんですけど、どうしても正門から入りますとプールがあって、校舎があってということで、防犯上ちょっと人目に全然付かないというところで、我々こっち側、通用門の方からという風に考えておりまして。あと、おっしゃっていただいている確かに通用門に行くまでの道が狭いとい

うのは、ちょっと学校の壁を何とかできないかということで考えさせていた
だきたいなと思います。

保 護 者：先程から保護者の声と地域の声が大きいから子供の精神的ケアの方を重要視
したいですということをおっしゃっていたんですけど、子供の精神面ってや
っぱり先生方ありきですけど、やっぱり親が見てて、親の助言だったり、子供
たちって不安やったりすると思うんですよ。で、今の感じでいくと、保護者が
すごく不安や不安やって言ってるのやから、家帰って子供たちがいくら学校
で楽しい、山三楽しかったわって言ったとしてもえ〜でも不安やろって親が
言ったら多分子供っていつまでたっても不安やと思うんですよ。だから、子
供の精神的ケアをメインで考えるなら、保護者のケアの方と一緒に並行する
なり、あとさっきからできません。これは違いますとか言ったらどうのこうの
ってことがよくあるんですけど、そしたら何かが1個与えますよとか、こんな
意見1個譲歩しますとかいうのがあれば保護者としてはちょっと、あ、理解し
てくれてるやんとか思うんですけど、詐欺や詐欺やっていう気持ちの方が多
くなるのが悲しいんじゃないかなって思いますし、あと私中学校の時に統合
してるんですけど、その時も中3で統合したんですけど、校歌が変わったんで
すね。学校名ももちろん変わりましたし、校歌も変わったので、なんかそうし
た方が逆にあっちも一緒にしょってという感覚になるんじゃないかなとか思う
んですね。そっちの方が早ないんかなって。その6ヶ月とかあと半年、議会で
決議して、じゃあ校歌と学校名変えましょう。じゃあ皆で覚えましょうの方が
一致団結、向こうともするん違うんかなっていうのをちょっと感じてて。何か
こっちばかり苦しいです苦しいですって思ってるし、向こうはそんなこと
何にもないですよ、来てよ来てよって思ってるかもしれないけど、やっぱその
気持ちの境目というんですか。やっぱ少人数やから、引っ付けるんやから、お
邪魔しますじゃなくて、一緒に新しい部分を作りましょうっていう風にして
もらった方がいいんじゃないかなろうかっていうのはちょっと思って。何か1つ
は持ち帰って、これは言うこと聞きますみたいなのを提案してもらえた方が
嬉しいし、あと主体が校長先生やから、じゃあ校長先生がこうしますあしま
すって言ったら出てこないんですかっていう。お財布だけですかっていうと
ころは思うので、じゃあ校長先生に全部言って、校長先生がいいですよって言
ったらしていいんやなっていうところはあるのか、ないのか。校長先生がそん
な権限持ってるんやったら、校長先生に言うし、校長先生はそれはちょっと教
育委員会に言わないとっていうことが今でもあるんか、ないんか。どっちなん
やろっていうのが正直分からんのです。

教育委員会：ありがとうございます。校長がもちろん、こういうことやりたいああいうことやりたいということで教育委員会に言ってきた時には、可能な限り我々はそれを実現できるように予算の確保ですとか、人員の確保とかをさせていただくんですけれども、もちろんできないこととかあるのはあります。学校と教育委員会で連携をしているという中で言いますと、今後また学校が説明会をする時にそこに教育委員会がいるってというようなケースももちろんそういったことはございます。答えになっていますかね。

保 護 者：持ち帰って何か 1 個は言うこと聞いてくれるんだっていうのをどっちかって言うと聞きたいです。全部出た意見の中で、じゃあ説明会だけでも、じゃあ次回しますわっていうのとか。

教育委員会：今申し上げましたように学校とともに説明会をさせていただくみたいなケースっていうのはちょっと前向きに検討させていただけたらというのは考えております。

保 護 者：いいっすか。説明会っていうのがそもそも違うんちゃうかって思ってるんすよ。何か決まったから説明しますだから決まらへんかったら説明しないっていうんじゃないしに、もう定期的にこういうことを考えてるけど皆さん意見どうですかっていう意見交換会をして欲しいんすよ。もう決まったやつをこうやって話しされて、今いろんな意見出ても、もう何か虚しいだけなんすよね。言っても言っても、何か聞く気ないみたいな。私らそういうの無理なんですとか、権限がとかって、そんなためにこの場使ってるのってもったいないと思うんすよ。こんだけ大人ぎょうさんいてんねんから、いろんな知恵とか出てくると思うんすよね。だからそれじゃあもうそれ定期的にやりましょうよもう。それぐらい今日決めてくださいよ。もう定期的に説明会じゃなしに、意見交換会やりましょう。10 分で終わってもいいんですよ。15 分で終わってもいいんですよ。今日話し合うことあんまないっすねって言ったらもう解散でもいいんですよ。そういう場を設けてコミュニケーションをとることが大事なんじゃないのって。説明会とかこんな仰々しいことをやる必要なんかないんですよ。って思うんすけどどうですか。

保 護 者：教育委員会も結局動いてはることは動いてるのかもしれないですけど見えて来ないんで、こういったことを今学校、部なのかどうか知りませんが、出していると、教育委員会としては。例えば先生の後任回してくれないかという話を出していると。それ際どいかどうか分かんないですけど、そういうことやってる

例えばですよ、例えば。他にもあると思うんですけど。学校名の問題がじゃあいつか、この辺でやろうかなと思ってると。それが遅れるか早なるんかは知らんけど、何かやってますよってことを我々聞きたいだけの話なんですよ。

保 護 者：問題把握されてるのって何があるんですか、具体的に。いろいろあると思いますじゃなくて。

保 護 者：それにね、それに合わせてね。この今後の流れで、児童の精神ケアとか魅力ある学校づくりで、予算出すっていうのがもう 7 月で未定になってるじゃないすか、ね。新たな取組っていうところも未定で、ようこんな資料出してくんناと思うんですよ。予算策定で何々についてこんだけとるとかっていうのがもう羅列されるべきやと思うんですけど。それが未定とかってなってる。だって、それもおかしな話やと思うんですよ。だからそんなんも含めて意見交換一緒に、僕らは意見交換会を一緒にやっていきましょうよって言ってるんすよ。それを教育委員会は頑なに嫌って言ってるんすよ。こっちは意見交換したいって言ってるのに、そちら側が嫌って言ってるんで。だからこれぐらいは今日やったんやから、それやりましょうと。夏休みあれやったらもうほんまに 7 月とか 8 月やったらいいと思うんですけど、やりましょうっていうぐらい。うん。せっかく部長来てはるんやから決めてくださいよ。いやいや、もう部長でいいですよ。

教育委員会：情報のご提供の仕方、情報共有の仕方とか、今日ちょっとこういう大きなというか説明会の形にさせていただいたんですけれども。例えばですけど、先程の通学の裏門、裏の通用門から行く道の狭いというような壁の話ですとか。いい意見いただけたなという風に私としては思っています。

保 護 者：そう、だからこそやっていったらいいと思うんすよ。

教育委員会：ちょっと情報共有、情報提供の仕方に関しては、我々検討させていただきたいと思います。ちょっとここで決めろというのはご勘弁いただきたいなという風に思っております。

保 護 者：いつ貰えるんですか。その回答はいついただけるんですか。

教育委員会：それも含めて考えさせていただきたいです。

保 護 者：学校って今教育委員会の持ち物ですよ。次は変わるんですよ、学校じゃなくなる。それとも教育委員会が継続して管轄なんですか。

教育委員会：今現段階ではまだ所管が変わるかどうかというのは未定です。

保 護 者：ですよ。いつ決まるんですか。

教育委員会：今現状で教育課題で何か使えないかっていうところでは考えておまして、それで使えなければ市全体で検討していくことになりますので、その辺りはちょっと早めに決めていきたいなという風に考えています。決まった段階でそこがいろんなことを調整していきます。

保 護 者：誰が決めるんですか。

教育委員会：結局市全体で決めることになりますので、教育委員会だけで決めるのではないんですけど。

保 護 者：そこはじゃあ横で繋がるんですね。いろんな部門が聞いて話して、じゃあうちやるみたいな。

教育委員会：そうです。

保 護 者：おおよその目途も立ってないんですか。いつ頃を想定しているとか。そこが決まらないと結局何も動けないじゃないですか。ここまでは決めようねとか、そういうのはないんですか。

教育委員会：その話我々もちょっと諸団体の方がいろいろこう課題を持ってはるとかいうことで、次年度の計画を立てにしていきたいというようなことを聞いていて、早めには思っております。すいません、ちょっと何月とまでは言えないので、できる限り早期にという形で考えていますのでよろしくお願いします。

保 護 者：だからそういうのもいつ、例えば9月までには決めたいとかいうのを出して欲しいんですよ、この場に。次あるのかどうか知らないですけど。

保 護 者：だってこれね。去年12月決まって、1年半って厳しいでって、プロセスも短すぎるやんっていうところで、何かすごいもう全部決まってんのかなと思っ

たら全部決まってない。すごいな。あと、すいません。ちょっともう 1 個だけ。僕ね、もう今回のこの加配の件がほんまに引っかかってて、こっちから聞いて初めて分かった。で、今回この統合するにあたって、議会でその文教委員会とかですごい議論してくれはって、その中で教育委員会は、やっぱり議会の中でもプロセス早いやん早いやんってあった。でもそれに対して教育委員会は加配するんですって言って、そんなもんあったから賛成した会派もあると思うんですよ。でもこれ蓋開けたら、その議員の人たちもそれ知らなかった。加配されてないっていう事実を知らなかったっていうのって。何か条例通すためだけに適当なこと言うてんちゃうんって思っちゃうんすよね。で、決まってない。僕ね、これほんま議会軽視。だから皆さん市民の代表なんですよ。その議会軽視がちょっとひどいんじゃないかなと思ってらんすけど。そこに対して、いやそうじゃないんですって言うんやったら意見聞かしてもらいたいなって。

教育委員会：決して議会軽視ということではありません。予算をご提案して、条例も。条例の議論をしていただいて、予算の議論もしていただいてということで、我々としては人事政策上、結構方針が変わるとか、そういった時にはご報告をしてるんですけれども、今回ちょっと配置ができてないというところで、都度都度の報告っていうのはさせていただいてないというそういう状況です。

保 護 者：めっちゃおっきい問題やと思うんすよね。でもそれが、教育委員会のその判断でそれがいけちゃうやなって。いやそれがね、何が心配かって言ったら、統合する時にはそうやって丁寧にやりますよ。加配もしますよ。でも統合した後、メンタルケアちゃんとやりますって言ったのも、結局統合した後に、いや実は体調悪い人がいてたんで、手当できなかったんですよ。それも報告義務ないですからとかってなっちゃうんちゃうかなって。ていうことの信頼関係が失われちゃってるんですよ、このことで。だからこそ、コミュニケーションとっていきましょうよって言うてるんすよ。でもそれに対しても、いやって言いはるんやったら信頼関係なんか生まれないですよ。

教育委員会：繰り返しになって申し訳ないんですけども、情報の提供の仕方とか、そういう共有の仕方っていうのは考えさせていただきたいなと思っております。

保 護 者：子供が 2 年生と 4 年生で学童に入っています。先日 19 日に学童の交流会があったんですけども。学童から帰って来てからどうだったって聞くと、トイレがめっちゃ臭かった。鼻がもげるくらいめっちゃ臭かったって言って、結局

そっちのトイレに入らずに、山五に戻ってから急いでトイレに入ったと言っていたんですね。そういうトイレがあったのって教育委員会の方は動いているんですか。

教育委員会：設置の年月日が山三の方が古いのですので、トイレがそういう古いというのも、山五も山三も行ってますので存じ上げております。一部改修されてるんですね、山三の方のトイレも。改修されていないトイレもあって、お子さんは多分そこに行かれたのかなと思うんですけど、そういった改修も含めてさせていただきたいなと。ちょっと時間、時期的な部分はあるんですけども、トイレ改修も今後はさせていただきたいなと思っております。

保 護 者：来年度っていうことをちょっと聞いてるんですけども、それ今年度できないんですか。快く山五の子を受け入れてあげようという気持ちはないんですか。

教育委員会：工事を行う前にですね、まず設計を行うんですね。設計図に基づいて工事っていうのが決まるんですけども、来年度工事するために現在今設計を、トイレの改修の設計を行っているところで、今年度というところは現実的に厳しいかなと思ってますので、来年度にやっていきたいなという風に考えております。

保 護 者：今年度、何が厳しいのか。

教育委員会：来年度に工事を行うことです。

保 護 者：それはどうしてですか。

教育委員会：現在設計を行っていますので、工事を行うためには設計がいるんです。

保 護 者：それは統合を決める前にもうそういう計画を立てなかったんですか。統合が決まってからじゃあやろうってことなんですか。そういうスケジュール的なところはできてなかったんですか。

教育委員会：現状ですね、統合決まってからその設計の予算を議会の方で認めていただいて設計委託を行っている。

保 護 者：そもそもそのトイレが吹田市の山三小にあるのも可哀想だとは思いますが、ち

よっと話が行ったり来たりなんですけどスケジュールがどうなってるんですか。全てのスケジュールどうなってるんですか。

教育委員会：今トイレの話になりまして、一部改修で今からちょっと設計をしながら工事を
して改修させていただきますということで、我々が統合のスケジュールをこ
のスケジュールでっていうのはやっぱり子供たちのハード的な環境は今取り
組んでいくんですけれども、学習環境とか、子供たちのクラス替えができると
か、そういうところの学習環境を考慮してこのスケジュールを組んだという
ところで、ただハード的な部分については少しお時間をいただく部分もある
んですけれどもしっかり対応させていただきたいなという風に思っております。

保 護 者：こういうスケジュールって普通統合が決まる前にこういうスケジュールでや
るからいついつまでに、いつ頃に統合が可能っていうことで普通はやると思
うんですよ、私の中で。パブリックコメントにも書いたんですけど、他の市町
村の合併とか見て、例えばさっきも出た学校名。学校名が決まって、その後校
章が決まったり、校歌が決まったり。予算決めて、この企業に頼んで発注して、
いつ工事してとか。そういうところって何か。そういうアンケートをやるって
いうことをおっしゃったんですから、そういうところのスケジュールとかも
考えていらっしゃるんですかね。そういうところを検討して何か考えてるん
ですか。スケジュール作ってる人はいるんですか。それであれば何かやること
あったらもうちょっと見えてたらこんなスケジュール出ないですよ。もうち
よっとまともなスケジュールはないんですかね。

教育委員会：我々予算を取ったり、いろいろ決定をしていくという手続き上のプロセスがあ
りまして、中々ちょっと皆さんにこちらで考えてるものを全てお出しできな
いところは辛いところなんですけれども。すいません。ちょっと今回スケジ
ュールが荒っぽいんですけれども、決まっていく段階というか、お示しできる段
階で示させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

保 護 者：確認なんですけど、4月にスタートするんですよね、統合。で、仮に学校、校
長が今ある問題だとか、その通学路もそうですけど、問題が解決しなくても4
月にスタートするということでよろしいですか。それってケアになってるの
か、丁寧な運営になってるのかとか、その辺も踏まえてちょっとお聞かせいた
だきたいなと。

教育委員会：ご質問ありがとうございます。今ある課題ですとか、今後やっていくべきことを、ハード面では7年度以降に、ご要望も受けながらハードの方を整理していきたいんですけども、今ある課題については対応して、7年度の4月に統合するという風に考えております。

保 護 者：クリアできるってことですか。

教育委員会：そうですね。クリアするという風に考えております。

保 護 者：すいません。それは児童の精神的ケアについても全てクリアするっていうことでよろしいでしょうか。

教育委員会：児童の精神的ケアを全てクリアするというのはどういう状況なのか、心配な子ができる限りこう。

保 護 者：全てクリアするっていうのは、その児童の精神的ケアっていうところの問題点からしてどういう意味でお話しされたんですか。

教育委員会：子供たちが山五に行きたいなっていう風に思える状態ですね、楽しみだなとか。

保 護 者：山三ですよ。

教育委員会：ごめんなさい、山三に行けるという。で、やっぱり中にはこうちょっと不安を抱いている子が今もいてるという風にもちろん聞いてますので。学校の方でも個別に丁寧に対応させていただくということで考えて今お話をさせていただいております。

保 護 者：各学年でどれくらい今しんどくなっているお子さんがいらっしゃるのかとか、そのお子さんに対してどういう風な今ケアとかなされているのかとか、そういうケアをした結果、改善したのかどうか辺りって把握されているんですか。

教育委員会：学年と人数まではお聞きしていませんけど、お家でしんどいと言ってるとお母さんがおっしゃってるケースがあるとか、そこはスタートアップ授業ですとか個別に見守りとか。そういうところをお聞きしております。

保 護 者：精神的なケア、順調にいくとお考えですか。

教育委員会：学校の方できっちり取組はしていただきますけれども、やっぱり不安を持ちながら行かれるっていうところもあると思います。山三に行ってちょっとまだ不安が残ってるなって。ただ、そこを引き続きケアをさせていただくということとで考えております。

保 護 者：精神的なケアがうまくいかなかった時に医療的なケアが必要になることもあるということを知っておいてください。その責任ってとってくださらないんですよ。

教育委員会：ちょっとケースの状況が今では明確に分かりませんので、明確なお答えはできないですけれども、ご意見いただいたことを受け止めさせていただきます。

保 護 者：すいません。2年生の保護者です。先程、中には統合をまだしんどく感じてらっしゃるお子様もいるようですがっておっしゃってたんですけども、ほとんどだと思えますよ。うちの子もちろん山三に行くのも不安がってますし、家も遠くなるし、今んとこ楽しみな要素も特にない状態で、保護者の私も不信感が募ってばかりで、今みたいにそのトイレが汚いとかそういうことを聞いてしまったらさらにもう山五の方がよかったっていう想像しかつかないんですけど。統合の話進んだ段階で、その山三も改善して、改修工事していただくとか、設計に何ヶ月かかるんかも分からへんし。何かもう不安要素ばかりが出てきてて。今、この説明会でもこっちには名前を変える検討もしますみたいな言ってるけど、その今の時点で山三の人が名前を変えられることを検討されてるっていうのを知らん時点でもう4月に間に合うわけがないし。もう変える気がないんだったら、変えないってはっきり言って欲しいと思います。で、あのまだ説明会をしていただけるんだったら何月の時に、もうその名前を変える気はあります、変えないつもりですとか、改修工事をどこまでしますとか、もうちゃんと教えていただきたいです。子供も不安ですし、親もそんな汚いって聞いた学校に通わせるのも不安です。説明がなさすぎて、この今日いただいた用紙では何も分からないです、正直。とにかくちょっと改修工事だけ本当お願いしたいんですけど。今本当に知らなかったのも、さらに不安になりました。もうこの統合を納得して安心して任せられてる保護者の方って多分いらっしゃらないと思います。お願いします。

教育委員会：改修をはじめ、いろんなことでお示しできるタイミングでお話しさせていただきます。

保 護 者：小学1年生の保護者です。今ちょっとお話いろいろ聞いてて、防戦一方になられてるのをもうずっと聞いとるのが本当しんどくて。今回出していただいた資料とかもそうですけど。突っ込まれる要素めちゃくちゃあると思うんです。で、我々企業勤めてる人間とすれば、やっぱり突っ込まれることを想定して、それに対して具体的な回答を用意しとく、それだけでも多分今聞かれてる保護者の方安心されると思うんです。で、トイレの件とかもそうですけど、もう事前にもう決まってるのであれば、その勤めてる方、その学童の方とか、ご存知やと思うんですけど、そんなところまで今ここの、この時点で突っ込まれることになってるのはもうほんま聞いている方がしんどくて。で、あと、もう今、議員さんいらっしゃるんですけど。反対されてるところはまあよく理解されてるなっていうのは感じますし、ただ賛成されたところ、今こんな現状になってるっていうのを正直どう思ってるのか。現場に任せるのは仕方ないとは思いますが、あと10ヶ月ぐらいですかね。めちゃめちゃ急いでもらわないと多分保護者安心できないと思います。なので、防戦じゃなくて攻撃が最大の防御ぐらいで、もうちょっと本当に頑張ってもらいたいです。で、代わった方ばかりと私聞いてますんで、教育委員会。代わってないというのが多分、管理職の方。だからもっと何て言うんすかね、そういうところを指示していただいて、具体的に落としていただいて、まだ説明会があるのかどうか分かんないんですけど。その回答なり、もうちょっと丁寧をお願いしたいなともものすごく今日感じました。以上です。

教育委員会：ご意見ありがとうございます。取り組んでまいります。

保 護 者：あ、もうマイクなしで。あの学校の現場の先生も結構大変やとは思いますが、まあ子供らが1番やと思うんですけど。PTA 大変なんすよ。PTA 統合するっていうノウハウありますか。ぜひ教育委員会にこれ全部やってもらいたいんですよ。規約のすり合わせから。地域変わる、増える。で、ここの通学路に関しても、それぞれ学童に関してはそれぞれで工夫して対応を考えてとかって、何かすげえ丸投げされてるんですけど。パトロールのやり方も山五と山三は違うかったりとかっていうそういうすり合わせとかを、これからいっぱいやっていかんと駄目なんですわ。これ全部保護者の負担ですわ。で、今年の PTA 役員やってくれた人ってほんますごいなと思うんすよ。こんな状況の中でやったろかって。そこに対して教育委員会って何かサポートあるんですか。

教育委員会：PTA の取組をご苦労いただいております。PTA ということで、学校と保護者の方で団体作っていただいて、教育環境を維持するために取

り組んでいただいているんですけど、例えば学校がそこで、PTA の取組として進めていくことで、学校に対して支援という形で、直接こちらがその作業をするっていうことは難しいんですけど。

保 護 者：でも統合を決めたのはそっちじゃないですか。で、それ全部こっち来てるんすよ、その負担が。だからそこでいやそれできないんですとかっていうのって。

教育委員会：統合を決めたのはこちらですけども、直接我々がそれをするっていうのは難しいんですけども。

保 護 者：いや、普段の PTA 活動はやりますよ。もちろん。例年以上にやりますよ。でも統合に伴う作業っていうのがめっちゃ増えてるんすよ。そこ想像してましたか。

教育委員会：もちろん 2 つの組織が 1 つになるのですから、それぞれすり合わせとかいろんな作業が出てくるなというのは。

保 護 者：サポートしてください。

教育委員会：ちょっとそこは学校と話をさせていただきます。

保 護 者：いや学校の先生の負担増やすの嫌なんすよ。もうすでに負担増えてるのに。さらにこれ以上負担増やすなんて。未来創生室が負担、何かサポートしてくださいよ。

教育委員会：直接のサポートというよりはちょっとどういったことができるかは考えさせてください。

保 護 者：いつまでに。

教育委員会：いつまでにというのも含めて考えさせていただきますか。

保 護 者：どんどん時間失くなっていったるんすよ。

保 護 者：すいません。ちょっと確認させていただきたいんですけど、私達は統合を山三と山五が一緒になって、先程も意見で出ましたけど新しい学校ができると思

っています。教育委員会の皆様はどういう風にお考えなんですか。山三に吸収されるという方向で進めていらっしゃるんですか。

教育委員会：我々はその2つのどっちやっていう風な分類はできないですけども、山三側もお迎えするにあたって新しい、今までやってきた山三の例えば授業の進め方、カリキュラムとか、そういったところを山五の方と、山五が山三に合わせに行くというよりは、それぞれの良いところを取って1つにするというような手法をとってますので、考え方としてはそういう考え方なのかなと思っております。

保 護 者：ではそこでお聞きしますが、学校名は今後どうされる予定ですか。

教育委員会：学校につきましては去年の説明会で申し上げたところから変わってないです。子供の声を聞きながら。

保 護 者：聞きながらですね。えっとそれは、山五の子供たちの意見を聞きながらですか。私それすごく危ないと思うんですよ。山五の保護者、子供たちの意見を聞いて、このタイミングって今からね、ゆっくりされて出されたら次山三でどうなるかって想像されてますか。私達いい雰囲気統合を迎えたいと思ってるんですけど、それはどういう風にお考えなんですか。

教育委員会：ちょっとどういう形、どういう手法で声を聞くとか、今学校でいろいろ子供たちの声を拾い上げる作業をしてもらっているのも含めてどういう形であってというのは考えているところになりますので。それはお示しできるタイミングでお示ししたいなという風に思っております。

保 護 者：ぜひ逆算して考えてきてください。時間ないと思います。で、それともう1点、すいません。問題点を私達が考えている問題点とかをどこまで把握されていて、されてるか分からないんですけど。議案として、どういう項目でちゃんと上げられているのか。漏れが、私達の意見が漏れてないのかっていうのを確認したいんですけど。それをすることはできますか。決定事項を挙げてくださって言うてるんじゃないんです。

教育委員会：課題と思っておられることがあるということであれば、それをまたお教えいただいた時に、我々の今の検討状況こうですよとか、我々もこう考えてますっていうのはお示しをできるのでメールでも何でも結構です。これが課題だと思

っているというのをちょっと教えていただければ。

保 護 者：じゃあメールで送ったものの回答はいつ来ますか。例えばね。この学校名の話って、1年経ちました。

教育委員会：統合の説明を去年の9月とかにさせていただいてからということですよ。

保 護 者：これだけかかって同じ状況ってどういうことですか。

教育委員会：前半部分とちょっと繰り返しになるんですけど、今、即座に対応すべき課題として、児童のケアとか交流事業ということで考えていますので、今現状の状況ということになります。

保 護 者：分かりました。じゃあ私も繰り返し言いますが、逆算して考えてみてください。時間ないですよ。

保 護 者：今の話だと言った時点で考えてくださるってことだったので。1回目私説明会でSC、スクールカウンセラーなんですけど、子供の心のを1番に聞いてくれる教員になってるんですけど、それを配置してくださいねって問題を挙げたんですけど、あと、1番最初に皆さんおっしゃってるように、1年3ヶ月は早いっていう問題は一体どこへ行ったのかなって思うんですけどそこについて回答お願いします。

教育委員会：児童のケアのための配置については、ご意見いただいた中なんですけれども、そこは先程お答えいたしましたように、回数を増やしていったのと、個別のケースに応じて対応できるようにしているということです。1年3ヶ月の話は、そういうご意見をいただいたということでおっしゃったんですかね。

保 護 者：全員が早いってずっと言ってますので。

教育委員会：それは対応できるように今取組を進めているところです。

保 護 者：対応できるって言って議会通ったのに対応できてない今について、山五が最悪のケースだと思うんですけども、またやろうと思いますか。1年3ヶ月で。他の学校の統合、または過大規模校のところとか、大規模校とかを分校する時に。1年3ヶ月でやるんですね、これからもう吹田市は。

教育委員会：教育環境を改善していくための最短のケースでやりたいと考えてます。ただ、それがどれになるのかはケースによって違うのかなと思います。

保 護 者：じゃあケースで言うのは山五は何故 4 年。今の 5 年か。16 人、17 人の子が、6 年に行くタイミングだったのかなっていうのは全保護者が思ってるし、4 年の保護者の方は絶対思ってると思うんですけど。最善のケースだと教育委員会は思って 1 年 3 ヶ月強行突破したわけですよね。で、この対応が丁寧な対応。で、教育現場に丸投げするのが、教育委員会で言う丁寧。で、それが違うよって保護者は何回も言ってるのに、それについての答えは出さないのが教育委員会なりの丁寧っていう認識で合ってますか。

教育委員会：我々としてはそう認識はしておりません。

保 護 者：ていうことは、これから丁寧に動いてくださる。

教育委員会：今日様々にご意見をいただく中で、我々としてはこれまでも学校と連携しながら取り組ませていただいています。

保 護 者：学校とは連携されてないんです。

教育委員会：すいません。そこはどうしても認識が違ってしまいうんですけども。

保 護 者：で、人も足りてないです。で、子供のケアもされてないです。で、問題をずっと議会が通る前から言ってるし心配してきたのに全く聞いてこなかった現状がこれだよって言って、私達もう本当に困って、今日議員の方も来てくださってる目の前で、もうずっと同じこと言い続けてるんですけど。で、教育委員会もずっと同じ平行線なんですよ。で、誰が困ってるかって子供が毎日泣いて学校行ってるんですよ。で、4 月蓋開けたら多分不登校の子増えるんじゃないかって。同じ教員としてそんな学校に勤務したくないんですよ。で、そんな状態で普段の業務以上にそんな学校行って、先生も壊れるし子供も壊れるし保護者はもうやっばりなってなった時、誰が責任取ってくれるのかなって思ったら、この 1 年間見てたらきっと教育委員会はいやーってまた平行線を辿るんだろうなと思った時に、自分の子供が精神的に病んでるとか、その先生が精神的に病んでるってなってるのに、教育委員会がいやーって言ってたらもう怖くて仕方ないんですけど。それについて何も策を今からも打たないんでしょうか。

教育委員会：学校も1学期、2学期、3学期と取組を進めていて、今日ちょっとざっくりとですけどもお示しをしております。

保 護 者：今日ざっくりじゃもう遅いんです。

教育委員会：我々もそれをしっかり支援していくということで考えております。

保 護 者：支援できてないんです。で、えっと、多分なんですけど。3月になったら逃げ切ったと思ってまた担当の方全員変わられたりとか一部変わられていやそんなことは聞いてませんでしたとか一部聞いてましたとかって。去年あった担当者が一生懸命頑張ってたことを、ね。今やってはるんだらうけど。結局何も決まってないんですよ。子供たちに理になることが1つも決まってないまま統合だけが決まっている。で、その中子供と保護者、地域の人達だけが困っている。取り残されている。で、こんな会があるから一生懸命伝えても何も変わらない。なので私今回今日来るかどうかすごく悩んだんです。去年、一昨年PTAの役員やってまして、今年と去年と学童の役員やってるからこそ情報があって、いやおかしいやろって思うんですけど。多分一般の保護者の方全然知らない中、今日初めて来られた方とか、多分めっちゃくちゃ不安になったと思うんです、情報を知ったから。で、他の保護者の方がこんだけの情報を知ったら多分全員が不安やっとなると思います。ていうようなことを、何も情報発信をしないまま現場の先生に頑張ってもらう。そこは子供に期待を担ってもらう。ちょっと無責任すぎるよって話をずっとしてるんですけどいい加減変わりませんか。

教育委員会：ちょっと繰り返しになってしまいますけれども。

保 護 者：繰り返しなんですだから。

教育委員会：学校もこれまでやっておりますし。

保 護 者：やってないんです。

教育委員会：我々としては。

保 護 者：変わりましょう。変わってください、もういい加減。

教育委員会：我々は学校としてきっちり対応してもらっていると思っています。

保 護 者：学校じゃなくて教育委員会が変わって欲しいんです。

教育委員会：我々もきっちり学校の方を支援して連携を強化していきたいという風に考えています。

保 護 者：支援してないんです。それが全く出てないんです。

保 護 者：どうやってやるんですか。具体的に言ってください。

教育委員会：これまでも教育委員会内で関係室課で、推進会議を作ってそこで学校と協議をしながら、課題を抽出して対応していくっていうのを統合決定後ずっとやってきております。

保 護 者：それで議会通したからですよ。その状態で走ったからこうなってるんです。

教育委員会：課題が具体的にいろんな室課に跨っているのと、学校独自の課題もございますので、それについては関係室課も集まって学校も集まって対応を。

保 護 者：それは議会通す前に話し合わなかったんですよ、それ1回も。地域と保護者と子供と。で、ゴーってしたからこの結果です。

教育委員会：またその令和2年度、3年度、4年度の動きの時の話になってしまうんですけれども、4年度にアンケートをさせていただいて、課題を整理をして、5年度に説明をして今に至っていると。

保 護 者：あの1回目にとったアンケート、あの議員の方に見せてください。あの1番最初の統合の時のあのアンケート。母数も見てもらってください。あれおかしいんだと思います。あの1個目がおかしい。もういいんです。統合が決まったんでもういいんですけど。あそこからおかしかったんですよ。で、教育部長もあれを基に話を議会ですてましたけど詐欺ですよ、もうあれほんとに。皆にYouTubeでも流れてたんで見てもらったらいいかんと思うんですけど。詐欺です、あれほんとに。答えてこなかったツケが今ここに来てるんですよ。別にいいです。3月で逃げ切れるんでしょからそちらの方はいいんですけど、子供たちは、保護者は、地域の方はこれからもこの地域で生きていかなきゃい

けないんですよ。その想像力って多分そちらにはないんだらうなって皆思ってます。

教育委員会：ご意見いただいてることは受けとめさせていただいて、我々としても。

保 護 者：受け止めてないんです、全然。回答されてないんですよ、ずっと。

教育委員会：すいません。ちょっとやりとりがこう平行線にはなっているんですけど、我々言わしていただくと、学校と連携しながらやっていくというところは言わせていただきたいなという風に。

保 護 者：それは今後の行動じゃないですか。こうやっていくとかって。今ここでなんぼやっていきますやっていきますって言っても、もうこの信頼関係崩れてる中で、そのことはなかなか響いてこないんで。今後どういう活動をしてくれるかで変わってくるわけやと思うんすよ。だからそれほんまなんなんって言ったら、さっきから言ってるコミュニケーションをちゃんと取っていきましょうよってことだけなんすよ。だから定例で意見交換会やりましょうよってもうそれだけでもいいから今日これ決めてください。これ決裁権者いてるんでしょ。決裁権者いてるんやったら分かりましたやりましょうって言ったらしまいじゃないですか。何でそこまで逃げる必要があるんすかそれに対して。決裁権者いてんねんから分かりましたやりましょうって言って、やり方が何かまずいねってなったら変えていったらいいじゃないですか。だからまあ次はやりましょうと。それだけでも約束して今日もう終わりましょうよ、これで。決裁権者何のためにいてるんすか。これ決裁権者いてなかったら決められへんので持ち帰るっての分かりますよ。部長っていうのが来てるんでしょ。決裁権者でしょ、組織的には。だから決裁権者が決めたらいいじゃないですか。誰なんすか。決裁権者じゃないんすか。

教育委員会：仮にその決裁権者がこの場にいたとしてもすぐにこう決められること、決められないことはあるかとは思います。

保 護 者：いや意見交換会をすることがそこまでハードルが高いものなんすか。

教育委員会：ここで結論ではないんですけれども、ちょっと前向きにそこを検討させていただきたいなという風に思います。

保 護 者：前向きって言いましたよ。

教育委員会：前向きって言いました。

保 護 者：言いましたよ。

教育委員会：手法はちょっとどういう仕方かっていうのは。

保 護 者：そんなん簡単じゃないですか。毎月決めて、第何曜日って決めたらいいだけじゃないですか。

教育委員会：今ずっとお聞きをしてて、やはり我々は統合した後どういう学校にしていくのか。これは校長が主体的に取り組むべきだと思ってます。ただ、そういう説明をしたところ、説明をしているんですが、皆さんの声を聞いてるとね、その姿が見えてこない。教育委員会がどうサポートするのか見えてこないってところがやっぱり1番大きなところかなと思っています。今おっしゃってた意見交換会なんですけど、1つはどういった形でやった方がいいのかなとちょっと考えているんですが、お声を聞いてる中でね、何らかの形でやりとりはいるんだろうなと。それはこういうような場がいいのか。或いはメンバーを絞った方がいいのかもあるんですが、その意見交換会で出せるこちらの情報というのもおそらくこういう場に出せる情報と変わらないんですね。それは出せる情報、出せない情報がありますので。そして1人歩きするのも駄目ですから。だからそうなった時に仮にやって、やっぱりこれの、今40人ぐらい来ていただけてますけども、ミニチュア版になっただけでやはりこれはそれぞれが溜まってたら、結局無駄な時間になってしまいますので。どういうやり方がいいのかっていうのは少し考えたい。ただ、学校での取組を、学校、教育委員会、皆さんとで意見交換会をした方がいいのか、やはり学校と皆さんとでやった後、教育委員会に上がるというやり方がいいのか。そういういろいろやり方はあると思うんですがそこはどういうやり方がいいのかっていうのは少し考えるということで、先程の者が前向きに考えたいと言った答えになると思います。そこはひとつご理解いただきたいなと思います。

保 護 者：すいません。それ何で統合前にやらなかったんですか。

教育委員会：すいません。それもさっきからの繰り返しになっちゃうんですけども、令和3年度に基本方針を整理して4年度にアンケートをさせていただいて、5年度に

説明会をしたという、そういう流れの中で統合が決まったという、そのお答えにしかないです。申し訳ありません。

保 護 者：で、意見交換会はやる方向でいいですか。

教育委員会：意見交換会っていう名称になるのか分からないですけど、どういう形でやるのか、やる方向で考えたいと思っています。

保 護 者：提示できる情報がないって言ってましたけど。今僕らいろいろ質問しましたよね。回答持ち帰りますとかってありましたよね。それを答えてくれるだけでも違うんですよ。で、またそこで質問が出る。次の時に答えてくれる。提示できなくてもそれだけでもいいんじゃないですか。

教育委員会：そういうところでいいのかどうかっていうのも。この40人が4人になって結局またその4人ではやっぱり何も分かりませんよねって。それ分からないことを皆に説明しますかとなりますので、どういった形がいいのかっていうのは少し考えていきたいですし、逆にお知恵もいただけたらなと、ご意見いただけたらなと思います。

保 護 者：いつ開催とかはまだなんですか。いつ頃やるとかって決めましょうよ。7月に一発やりますでもいいっすよ。

教育委員会：ちょっと月まではあれですけども。議会の方の予算提案をするというところが出てきますので、その前に何らかの形で。

保 護 者：それやって。10月です、11月です、12月です。もう意味あんのってなりませんか。

教育委員会：9月に議会がございますのでその前にどうかっていうことで、ご意見聞かせていただけたらなと。

保 護 者：すいません。いいですか。マイクはいらないです。そのまま話します。いろいろ聞いてて、皆言いたいこといっぱいあって、今何言っても答えになってないので、これ以上言っても多分平行線だと思うんですけども。やっぱり、1年3ヶ月の中でやることに対して今こういう状況なっているんですね。先程いろいろおっしゃってましたけれども、まさにその通りのこと言った。意見言うか

どうか迷ったんですけど。これはもう自分の意見として、独り言として聞いて欲しいんですけども。その短い期間で強行した教育委員会。認めた市議の皆様。まあ反対された方がいるかもしれないですけど。今これ賛成したことに対してどうこう言うつもりはないです。ただ多分、説明を受けてこういう説明を受けたことに対してよかれと思ってやったという風に信じたい。けども今現状こうなんです。こうです。これを持ち帰って、各自の会派でこういうことだったってのは必ず伝えてください。今議事録とか取られてるかもしれないですけども、これだけの人数がいますし、何ならボイスレコーダーも取ってますよ。あのそういう状況です。だから、我々の声をもうちょっと親身になって聞いてください。今お子さんたちがいるのであんまりそういうこと言いたくないんですけども。この子たちは将来の宝ですよ。親にとって全てですよこれが。この子たちが。それは多分皆さんも一緒にしょ。皆さんも一緒だと思えます。教育も政治もそうだと思うんですよ。それをないがしろにしないでください。自分のことと思って、本当に考えてみてくださいよ。その時に多分1年3ヶ月早いんじゃないかって全員が言ったことに対してあなた方強行したんですよ。それなりの回答。誠意。対応してください。丁寧な対応かってのに対して、今誰もそう思ってない。縦割り、当然ですよ市役所ですから。だけどそんなの関係ないですよこっちからしたら。1人の親として全く関係ないそんなこと。不満でしかない。もうちょっと踏み込んで考えてください。こちらが納得する対応をしてください。こちらが言ってることをやれと言ってらんじゃないんですよ。みんなそうだと思います。考えてちゃんと対応してください。話を聞いてください。言ってください。そういうことです。あなた方と政治をやってる皆さん市議の方々。責任ありますからね。これ責任取れるんですかって聞き方は私は一切しないですよ。責任ありますからね。通学路がどうか、教育の仕方がどうか、統合の仕方、精神的なものいろいろあります。全てにおいて何か問題が起こった時に責任ありますからね。部長。目を見て話せって言ったでしょ。さっき。ちゃんと人の話を聞きましょうよ、眠そうな顔にしか見えないよ。駄目だよそれ人として。今聞いてもらえてますよね。そういうことです。それが個人の意見でもありますし。まあちょっとね、ほんととは話しちゃいけないっていうから独り言になるかもしれないですけど。要望として、この場で発言として残させてください。以上です。

教育委員会：皆さん沢山のご質問、ご意見ありがとうございました。ちょっと時間がだいぶおしてしまっ大変申し訳ありません。いただいたご意見をまた返せるようにということと、先程申し上げましたように、どういう形でコミュニケーションをとるかということを含めて考えさせていただきます。よろしくお願

ます。本日はお忙しいところ長時間お付き合いいただきましてありがとうございました。